

藤本尚則 ふじもと なるのり 評論家。明治二十一年十一月五日高知縣幡多郡清水生れ（二八八一）。號天真、天真道人。明治四十一年高知縣師範學校卒業後、明治大學、次ぐ日本大學法科に學ぶ。郷里で訓導、校長勤務後、大正五年と憲國民黨機關紙『大勢新聞』記者、八年東京朝日新聞社に入社、爾來編輯記者、檢閲主任、參事、まが六十二年以降同紙編輯發行名義人たること二十二年に及ぶ。この間日支親善の盡力、頭山滿公びん隨心善隣同志會を興すなどした。戰後敬愛會を創設。

著書に、『巨人頭山滿翁』（大正十一年二月）二十日政教社）、『明治大正國事年譜』（昭和二年四月五日忠誠堂）、『雜新英傑の膽ツ玉』（昭和十六年八月）二十日人文閣）、『國師杉浦重剛先生』（昭和二十九年十月）二十五日埼玉・敬愛會）、『青年坂本竜馬』（昭和四十一年一月）二十五日敬愛會社）等。

